学校番号	T0104

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	3,4 年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科はこれから生活を営む上で基礎・基本となる大切な教科です。
服飾手芸で、様々な手芸技術を身につけ、手芸についての理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	服飾手芸の材料や技法について感心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	服飾手芸の材料や技法について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	各種手芸の基礎的・基本的な技法を身につけている。	服飾手芸の材料や技法に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・プリントの感想欄等の記述 ・授業に向かう姿勢	・プリントのワーク欄等の記述 ・テストの結果	・実習の技能 ・実習のレポートの記述 ・テストの結果	・テストの結果 ・映像の鑑賞 ・提出プリントの記述

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">前期</td><td rowspan="2">手芸品の製作</td><td>手芸の種類と特徴</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a:手芸の種類や特徴について感心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている
b:手芸の種類や特徴に課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている
c:実習を通して、素材の特徴に応じた手芸品製作の技能を身につけている
d:手芸品に関する基礎的・基本的な知識を身につけている</td><td rowspan="2">学習状況
プリント
観察・意欲
テスト
作品</td></tr>
<tr><td>手芸品の製作①
裁縫：トートバッグ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期</td><td rowspan="2">手芸品の製作</td><td>服飾材料としての
各種手芸の技法
クロスステッチ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td rowspan="2">a:手芸の基礎的・基本的な技法について感心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている
b:　手芸の基礎的・基本的な技法について理解し、目的に合わせた選択をする能力を身につけている
c:実習を通して目的に合わせた素材や技法を選択した製作の技能を身につけている
d:　服飾手芸に関する基礎的・基本的な知識を身につけている</td><td rowspan="2">学習状況
プリント
観察・意欲
作品</td></tr>
<tr><td>手芸品の製作②
クリスマスオーナメント</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。